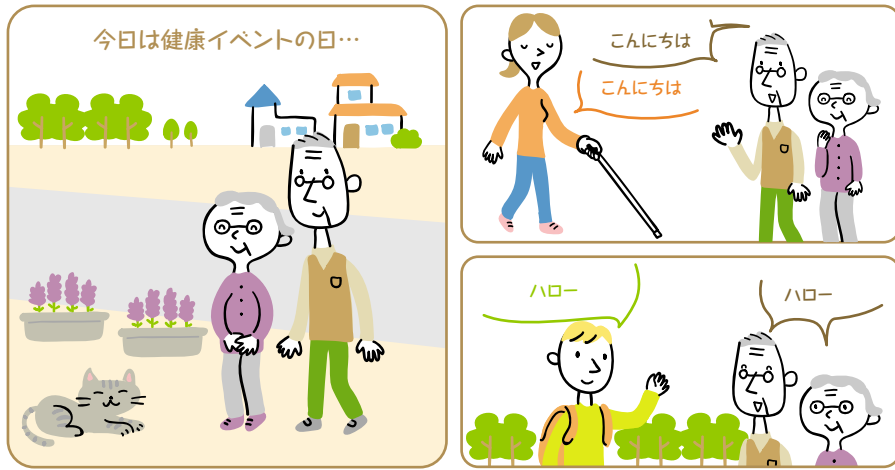


第3章

地域の“みんな”を知ろう!

地域の中には様々な配慮を必要としている人たちがたくさん暮らしています。どんな人たちが、どんな配慮を必要としているのか、具体的に見ていきましょう。

3-1 要配慮者について知ろう!



あらためて考えると、この地域にも色々な人が住んでいるんだなあ。



そうねえ。昔は地域の人はみんな顔見知りでしたけど、今は近所でも知らない人が多いわね。



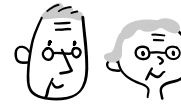
確かに。じぶんたちが若いときには困ったことがあっても、みんなで助けあってきたけど、今はどうなんだろうなあ。



そうねえ。知りあいの人がいないと心配ね。



その後、健康イベントの会場に到着した南国家のおじいちゃんとおばあちゃん...

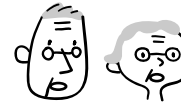


こんにちは!

こんにちは! 元気ですね!
今日は要配慮者の支援方法について
みなさんと一緒に勉強したいと思います。



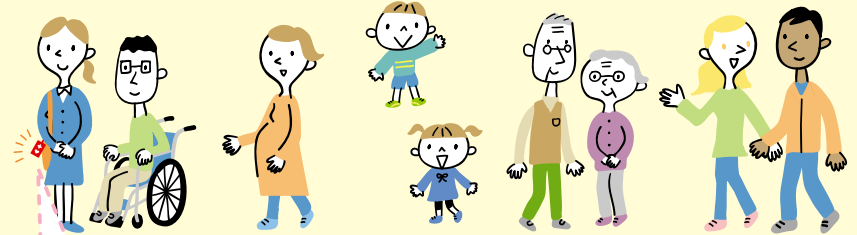
要配慮者? 配慮が必要な人ということですか?



要配慮者とは?

病気や障害などにより日常生活に支援が必要な人や、子ども、妊婦、高齢者、外国人など社会的な支援を必要とする人たちのことをいいます。特に災害時には周囲の人たちによる配慮が必要となります。

障害のある人 妊婦 子ども 高齢者 外国人



ヘルプマークを知ろう

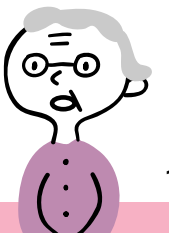


内部障害のある人や難病の人、義足を使用している人など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない人たちが、周囲からの援助を受けやすくなるように作成されたマークです。

なるほど。
じぶんも要配慮者
なのかあ。



確かに、もし地震が
起きたときは安全に
避難できるか不安ね。



3-2 どんな支援が必要なの？



妊婦や子どもにも配慮が必要なのか。



さっきあいさつした人たちは要配慮者なのね。

要配慮者の方々にはどんな配慮が必要だと思いますか？



どんな配慮…。あ！ひとりぼっちにしないとか？

はい！そのとおりです！具体的には…



要配慮者への支援

困っている要配慮者がいたら積極的に支援しましょう。もし孤立している人がいれば声をかけるなどして、一人にしないようにしましょう。

困っている人



困っていたり不安そうにしている人がいたら…。

まずは声をかける



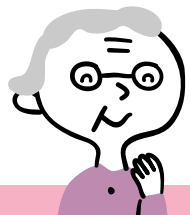
積極的に声をかけましょう。

手伝うことはないか聞く



手伝いを必要としないか聞いてみましょう。

その人が安心できる状況にすることが大事なのね。



3-3 SOSを発信しよう、受信しよう



災害の時だけ配慮すればいいんですか？

いえいえ。むしろ普段からの配慮が大切なんですよ。



普段から配慮を心がけましょう

災害などの緊急時に地域の人みんなですえあうためには、あらかじめ配慮が必要な人が地域のどこに住んでいて、どんな生活をしているのか知らせておくこと、知っておくことが大切です。普段からあいさつしたり、相談をするなどして交流を図りましょう。

SOSを発信しましょう



心配ごとや困りごとがあれば近所の人や専門機関などに相談しましょう。

SOSを受信しましょう



周りに配慮を必要とする人がいないか気づくような行動を心がけましょう。

じぶんも相談してみようかな。

ご近所のあの人は大丈夫かしら。

SOSを受信したら専門機関につないでみましょう。

